

平成23年度参加者

3,899組

ブックスタート事業

赤ちゃんの時から絵本を読んであげたり、わらべうたをうたってあげることは、心安らぐひとときを与えると同時に、赤ちゃんの心とこころを育てることにもつながります。お誕生日が近くなったら、長い読書生活の第一歩を最良の出会いでスタートさせてあげましょう。



市内の22館の図書館と、イオンモール浜松市野(ふれあいホール)、プレ葉ウォーク浜北(プレ葉ホール)で開催しています。

- 【対象】 8カ月から満1歳までの赤ちゃん(お誕生日当月まで)とその保護者
- 【内容】 ●絵本の読み聞かせやわらべうたの体験 ●図書館職員からのアドバイス
●赤ちゃんの図書館利用者カードの作成 ●おすすめ絵本を1冊プレゼント
- 【持ち物】 母子健康手帳
- 【時間】 午前10時開始(30分程度)
- 【イオン市野会場、プレ葉ウォーク浜北会場、佐久間図書館は異なります】

■会場別スケジュールはサイトにてご確認ください。
市ホームページ(HP)トップ→くらしの情報→学ぶ→図書館→児童サービス→ブックスタートについて

昭和20年8月から 昭和34年4月までの歴史です。

「浜松市史」四 販売中

第2次世界大戦により、焦土と化した浜松の復興の歩みを、多くの資料をもとに記述した通史編です。昭和20年8月から昭和34年4月までの旧浜松地域の歴史を記述しています。焼け野原から戦災復興事業が進展し、社会的にはあらゆる方面に民主主義制度を取り入れた、「戦後期」と呼ばれる変革の様子がうかがえます。戦後の混乱、六三制教育のスタート、オートバイ工業をはじめとした三大工業の発展、農地改革、映画や音楽、演劇、文学などの市民文化などが紹介され、高度経済成長が始まるまでの様子が見て取れます。

- 【価格】 3,000円
- 【販売場所】 中央図書館 駅前分室、市内の各図書館(一部図書館では販売を取り次ぎます)
- 【郵送】 本代/3,000円(現金書留で)
郵送料/450円(切手で)※領収書が必要な人は80円切手を同封
宛先/〒430-0947 中区松城町214-21 浜松市立中央図書館内 浜松市史編さん室

TOPICS

浜松市の図書関係の施策、お役立ち情報



現在のメルマガ登録者数

15,136人

メルマガ登録案内

浜松市立図書館では毎月第1火曜日にメールマガジンを配信しています。図書館からのお知らせやイベント案内、新着本情報などをお届けします。ぜひ登録ください。

「浜松市立図書館」メールマガジン
編集・発行 浜松市立中央図書館 平成24年6月6日配信号

□■□■□■□■毎月第一火曜日配信□■□■□■□■□■
いつも浜松市立図書館をご利用いただきありがとうございます。
今月も講座や展示など、様々な情報をお届けします。ぜひ図書館へ足をお運びください。

目次

●図書館情報～ア・ラ・カルト～
●読書点検のご案内(再掲)
●中学生図書館ボランティア説明会のお知らせ

●イベント案内
△ブックスタート6月のご案内
△ビジネス支援相談会「相談会やらいまいか!」(城北)
△「教科書展示会」(中央・浜北・細江)
△たぬきのもりセタコンサート(春野)
△ジャズ講座
「ジャズの名演奏をディグ(掘り起こし)しよう」(はまゆう)

●テーマ資料展示等のご案内
●次回の配信予定
●新着図書案内

平成24年6月号から

■メール配信サービスの申し込みは下記から市ホームページ(HP)トップ→くらしの情報→学ぶ→図書館→メールマガジン

■すべてのトピックスの問い合わせ
浜松市立中央図書館
中区松城町214番地の21
☎053-456-0234
市ホームページ
(HP)トップ→くらしの情報→学ぶ→図書館

豊かな読書環境の実現のために 声のライブラリー

城北図書館内に事務局を設置し、身体障害者手帳の交付を受けている視覚障がい者や、医師の診断書などで、視力による読書が難しいと認められた人に、録音図書(ダイジー図書・テープ図書)、点字図書の貸し出しをしている。

かたりべの会
図書館が開催する養成講座の受講生からなるボランティアグループ。その活動は、視覚障がい者用の資料作製(図書・広報はままつ・市議会だより)や施設訪問、対面朗読など幅広く活動を行っている。

録音図書
ダイジー図書
1,576タイトル
(平成23年度統計)

テープ図書
3,945タイトル
(平成23年度統計)

点字図書数
775タイトル
(平成23年度統計)

市民と一緒につくる図書館。

子どもと本の接点はみんなの力で 図書館の児童サービス

よみんぐ
「よみんぐ」は、読み聞かせボランティア養成講座(浜松市主催)の受講者が集まるボランティアグループ。現在登録会員はおおよそ130人です。浜松市の各図書館にメンバーが分かれ、ブックスタートや、「えほんとわらべうたの会」を、図書館職員と一緒に担当。ときには幼稚園や小学校などに出向いていくこともあります。



よみんぐ
会長 森下廣子さん

読み聞かせは、読み終わったときに子どもが幸せを感じるのが大切。そのためには絵本の選び方や、読み方がとても責任のあることだと実感しています。まだ、よちよち歩きの小さな子どもが、じーっと絵本を見つめる姿は感動しますね。そして成長した子どもの中には、「えほんとわらべうたの会」に何度も参加してくれる子もいて、繰り返し聞いた絵本から言葉を覚え、次々に自分から話したすこともあります。そんなとき、本を通して成長してくれていることを感じてとてもうれしくなりますね。
子どもだけでなく、「よみんぐ」に参加してから、私自身が絵本の奥深さを知り、もっともっといろんな絵本を読みたいと、わくわくしています。今まであまり図書館に来ることもなかったのですが、今ではとても身近になり、自分を成長させてくれる場所だと思っています。

えほんとわらべうたの会参加者
延べ **18,348**人
(平成23年度統計)
0～3歳ぐらいの子どもとその保護者が参加対象。
読み聞かせとわらべうたが行われている。

おはなし会参加者
延べ **7,140**人
(平成23年度統計)
図書館で、3～6歳、6～10歳など、年齢ごとを対象に読み聞かせが行われている。

おでかけおはなし会参加者
延べ **1,125**人
(平成23年度統計)
幼稚園、保育園に出掛け読み聞かせをしている。

親子いっしょに絵本講座参加者
延べ **755**人
(平成23年度統計)
絵本の選び方や与え方、読み聞かせのアドバイス、わらべうたの紹介をしている。